

「日本の新・生活保障を考える—格差と貧困を超えて—」

わが国で格差・貧困問題への関心が高まってから、かなりの年数が経過した。その原因究明については多くの成果が生み出されてきたが、一連の問題をいかに克服していくべきかについては、まだその方向性をめぐって多様な見解が存在する。こうしたなかで、今後の新しい生活保障のあり方をめぐる論議が、政権交代を機に著しく熱を帯びてきているとあってよい。21世紀の生活原理をいかに作り上げていくかが、今まさに問われているのである。

大阪市立大学経済学研究科では、まさにこうした時期に相応しいエキスパートとして宮本太郎氏や脇坂明氏をお招きし、アクティベーションやベーシック・インカム、さらにはワーク・ライフ・バランス等の議論を盛り込んだ「日本の新・生活保障を考える」というテーマでシンポジウムを開催する。広く関心のある皆様方の参加をお待ちしています。



Information

日時・場所：2010年3月9日(火) 13:00～16:30

大阪市立大学学術情報総合センター
10階大会議室

基調報告：宮本 太郎(北海道大学教授)

「日本型生活保障の解体と再構築」

論点提起：脇坂 明(学習院大学教授)

重点研究担当者

滋野由紀子(経済学研究科准教授・日本経済論)

松本 淳(経済学研究科准教授・財政学)

杉田 菜穂(経済格差研究センター研究員・社会政策)

司 会：玉井 金五(重点研究代表者・経済学研究科教授)